



この施設は簡保資金の融資施設です

保健センター待望のオープン

平成7年6月から着工し建設を進めていた八郷町保健センターがこのほど完成し、ことしの4月から健康なまちづくりへ向けての拠点施設としてオープンしました。

保健センターは、建設費6億7,217万円、鉄筋コンクリート造2階建、延床面積1,760㎡の建物で、役場駐車場のすぐ隣に建設されました。各種検診や健康相談などの保健施設はもちろんのこと、機能訓練施設や健康増進のための施設などが設けられています。皆さんの健康づくりにぜひお役立てください。



4月8日の健康相談

◇町の人口(4月1日現在) 男15,288人 女15,607人 計30,895人(前月比-41) 世帯数7,843世帯(前月比+5)

8年度予算

150億4,116万円

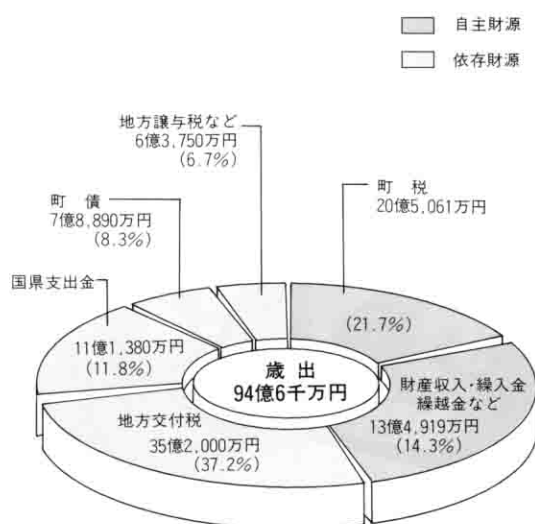
歳入

歳入では、地方交付税が35億2千万円で全体の37・2%（対前年度比7・3%増）を占めてトップです。みなさんから納めていただく町税は20億5,061万円で21・7%（対前年度比4・1%増）と続いています。昨年度はふるさと創生基金からの繰り入れなどにより大きかった繰入金、今年度は3億612万円で対前年度比52・1%の減になりましたので、財産

一般会計は94億6千万円

平成8年度の町一般会計や特別会計の予算は3月に開かれた町議会定例会で可決承認され、一般・特別会計合わせで150億4,116万円の予算で8年度のまちづくりがスタートしました。一般会計予算は昨年度と比較すると1・6%マイナスになりましたが、これは、昨年度すすめられたいくつかの大規模事業が完了したことなどが理由としてあげられます。予算の中身について、あらましを紹介します。

予算の構成



桜井町長

施政方針(要約)

住む喜びと幸せ 実感できるまちに

平成八年第一回八郷町議会定例会にあたり、町政に臨む所信の一端を申し上げ、議員各位並びに町民の皆さんのご理解と協力をお願いする次第でございます。

さて、この度町や住民の皆さんの長年の懸案でありました上曽峠、朝日峠のトンネル整備が県計画に具体的に示されました。今後町を取り巻く情勢がめまぐるしく伸展すると考えられる中で、将来の町づくりは、豊かな自然環境を生かして、都会や地域の人々がリフレッシュできる「あそび」の機能を取り入れたまちづくりを進め、町の将来像実現に邁進したいと考えております。

本年度の主要施策であります、調和のとれた魅力あるまちづくりの施策では、用途地域指定に向けて調査と素案づくり、道路は、町道山崎・石岡線及び片野地内から茨城県フラワーパークに通じる道路の整備を進めるほか、予算の重点的な配分を行い計画的に整備を進めてまいります。恋瀬川の河川改修は、県に早期事業化の要望を続けてまいります。

安全で快適な環境づくりのため、特定環境公共下水道事業、浄水場等施設の整備に取り組むほか、震災対策を踏まえた地域防災計画の策定、防災機材及び保管倉庫を小学校側等に順次整備してまいります。

保健・医療施策では、保健センターを拠点とした健康づくり、医療費の適正化、国保財政の健全化に努めてまいります。

心のふれあいと思いやりのあるまちづくりの施策は、福祉サービスの質の向上、デイサービス・介護支援センター等運営への支援、また新たに地域ケアシステムの構築を推進します。

人々がいきいきと交流するまちづくりの施策では、教育施設の充実を図るため、朝日小学校屋内運動場を建設、南中学校の校舎改築に向け調査、また、住民の学習活動の支援、スポーツ・レクリエー

ション活動の振興に努めます。

豊かで活力に満ちたまちづくりのために、農業振興と共にバランスのとれた産業の育成と雇用の場確保のため農村活性化土地利用構想の策定に取り組むほか、商店街活性化と商工業の経営強化に努めます。観光では、観光拠点施設の整備、ルート化を図ります。これら施策の展開にあたりましては、行政改革大綱を策定、行政需要に的確に対応し、町民の皆さんが住む喜び、幸せを実感できるまちづくりに全力を尽くして取り組んでまいります。

単位：万円

特別会計予算	国民健康保険	20億7,400
	老人保健	22億2,800
	農業集落排水	9,544
	フラワーヒル汚水	973
	下水道事業	2,919
	水道事業	11億4,480
	計	55億8,116

明日につながる

一般・特別会計予算総額

収入・繰越金などと合わせた額は、13億2千万円（対前年度比19・5%減）となっています。

歳出

歳出全体の構成からみますと、農林水産業費が17億6,392万円（対前年度比13・3%増）18・6%でトップとなっています。

土木費は9億8,726万円、構成比では10・4%で五番目の位置になっています。福祉の施策をすすめる民生費は15億3,102万円、対前年度比13・6%の増にな

特別会計予算

▽国民健康保険 保険給付費と老人保健への拠出金がほとんどを占めています。医療費負担の増加による財政圧迫が憂慮され、健全な運営を図るためには「早期発見、早期治療」により高額な医療費負担の抑制が必要です。保健センターを中心に、これから町民の皆さん自らの健康づくりが健全財政維持の大事なカギになります。

▽老人保健 老人人口の増加により保健対象者が増えており、医療給付費も伸びている状況です。昨年度と比較して15・3%の伸びで22億2,280万円になりました。

▽農業集落排水事業 加入者のみなさんから納めていただく分担金

りました。

8年度予算の特徴としては、生活、経済の基盤である道路整備に重点を置いた予算付けがされたことと、高齢者福祉、在宅福祉のサービス向上などに厚みをもたせ、安心できる暮らしに配慮されていることがあげられます。

衛生費、消防費では保健センターの建設、防災行政無線の整備が完了しましたので、大きく減になりました。このようなことから、総額では94億6千万円になり、昨年度当初の予算との比較では1・6%マイナスとなっています。

計予算

や使用料、一般会計からの繰入金

を財源として施設の管理運営をすすめるものです。

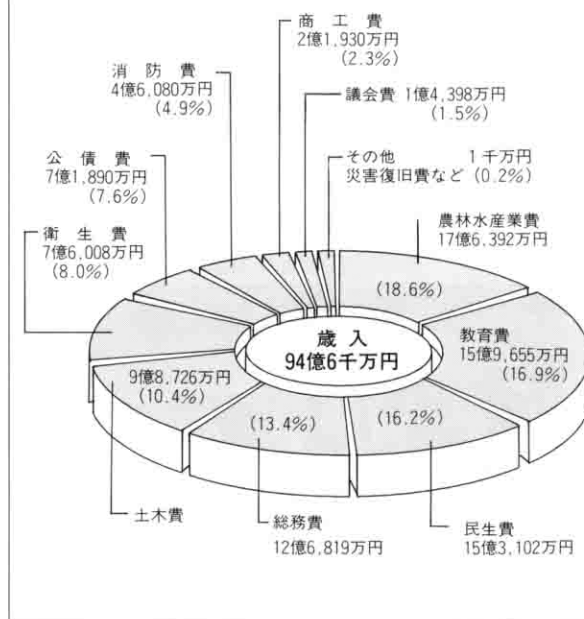
▽フラワーヒル汚水処理 フラワーヒル柿岡団地内汚水処理施設管理特別会計は、月額3,000円の使用料をいただき、団地内下水道処理施設の維持管理を行うものです。

▽下水道事業 一般会計からの繰出金や国からの補助金を財源に下水道整備事業をすすめるため新たに設定されました。

町民ひとりに使われるお金 総額では306,198円です

農林水産業費 57,094円 	教育費 51,677円 	民生費 49,556円 	一般会計目的別に 平成8年4月1日 の人口(30,895人) から計算しました
総務費 41,048円 	土木費 31,955円 	衛生費 24,602円 	公債費 23,269円 
消防費 14,915円 	商工費 7,098円 	議会費 4,660円 	その他 324円 

一般会計



るまちづくりのために

すすめるおもな事業

○心のふれあいと思い やりのあるまちへ

安心して明るく暮 らせるまちづくり

- 高齢者福祉事業
1,034万円
- 敬老会助成事業
1,719万円
- 老人保護措置事業
2億213万円
- デイサービス及び介護支援セン
ター運営委託事業 3,464万円
- 地域ケアシステム推進事業
600万円
- 在宅介護支援事業
510万円
- 身体障害者援護費
6,051万円
- 保育所運営事業
5億2,224万円
- 社会福祉協議会事務委託事業
4,176万円

○安全で快適な 環境のあるまちへ

自然を生かした快適 な生活環境づくり

- 交通安全施設整備事業
529万円
- 合併浄化槽設置事業
3,587万円
- 水道事業会計繰出金
2億2,000万円
- 下水道事業会計繰出金
1,869万円
- 防火水槽設置事業
2,250万円
- 消防ポンプ車購入事業
3,249万円
- コミュニティー防災資機材等整
備事業 950万円
- 地城防災計画策定事業
990万円
- 緊急防災基盤整備事業
2,570万円

○調和のとれた 魅力あるまちへ

生活と経済活動の 基盤づくり

- 都市計画推進事務費
2,414万円
- 道路維持補修事業
6,200万円
- 町道舗装・新設整備事業
1億4,550万円
- 排水整備事業
8,500万円
- 一般町道整備事業
2億6,500万円
- 生活関連市町村道路緊急整備事
業 1億85万円
- 片野・下青柳線道路整備事業
4,000万円
- 町道幹線単独道路整備事業
4,480万円





幸せ感じ

平成8年度

○生涯を健やかに 過ごせるまちへ

心身共に健康で 豊かな生活

- 老人保健事業
3,576万円
- 母子保健事業
438万円
- 予防接種事業
2,694万円
- 保健センター施設管理事業
1,585万円
- 医療福祉扶助事業1億4,671万円

○将来像実現 のために

町民参加による 行政の推進

- 広報紙発行・公聴（モニター・対話・懇談会等）事業 2,037万円
- 庁舎周辺整備事業
1,390万円
- 遊都・八郷まちづくり計画策定事業
2,153万円
- ふれあい交流事業
600万円
- 固定資産税現況調査事業
6,420万円

○豊かで活力に 満ちたまちへ

産業の活性化で活力 あるまちづくり

- いばらきの米産地事業
950万円円
- 農村活性化土地利用構想策定事業
500万円
- 農業経営育成生産システム確立条件整備事業
2,250万円
- 畜産再編総合対策事業
2,712万円
- 県単農道整備事業
9,002万円
- 県営ふるさと農道緊急整備事業
4,023万円
- 園芸施設等整備事業
1,000万円
- 花き優良種苗導入資金貸付事業
4,017万円
- 果樹産地高度化事業
475万円
- 転作助成事業
4,325万円
- 林道開設・改良・整備事業
6,356万円
- 森林活用環境施設整備事業
4,145万円
- 商工振興事業
1,205万円

○人々がいきいきと 交流するまちへ

生きがいをもって心豊かに 暮らせるまちづくり

- 教育主事設置事業
1,134万円
- 教育振興補助事業
2,442万円
- 外国青年招致事業
1,297万円
- 小・中学校管理事業
3億3,844万円
- 小・中教育振興事業
7,389万円
- 朝日小学校屋内運動場新築事業
3億1,463万円
- 南中学校校舎改築関連事業
1,950万円
- 文化財保護顕彰事業
666万円
- 文化財記録映画制作事業
500万円
- 地区公民館運営事業
633万円
- スポーツ教室開設事業
181万円
- 多目的広場改修事業
1億446万円
- ターゲットパードゴルフコース新設事業
1,248万円

3月議会定例会

新年度の予算など審議

平成8年度第1回八郷町議会定例会は、3月11日招集され3月27日まで17日間の日程で開かれました。上程された案件は、議案20件、意見書2件、同意、陳情、決議がそれぞれ1件ずつで、すべて原案のとおり可決承認されました。次のような案件でした。

予算関係では

▽平成7年度八郷町一般会計補正予算(第11号)▽平成7年度八

郷町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)▽平成7年度八郷町老人保健特別会計補正予算(第2号)▽平成7年度八郷町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)▽平成7年度八郷町水道事業会計補正予算(第2号)▽平成8年度八郷町一般会計予算▽平成8年度八郷町国民健康保険特別会計予算▽平成8年度八郷町老人保健特別会計予算▽平成8年度八郷町農業集落排水事業特別会計予算

▽平成8年度八郷町フ

ラワーヒル柿岡団地内汚水処理施設管理特別会計予算▽平成8年度八郷町下水道事業特別会計予算▽平成8年度八郷町水道事業特別会計

予算

予算関係の議案では、平成7年度一般・特別会計の補正予算や各会計の新年度予算が提出されました。

平成7年度一般会計予算の補正は、歳入歳出予算総額からそれぞれ

2,797万1千円を減額し、予算総額をそれぞれ107億333万3千円にしたもので、最終的な事業費の確定による増減がおもな理由でした。大きなものとしては、衛生費の保健センター建設に伴う工事請負費3,500万円減、消防費の防災行政無線の整備に伴う委託料、工事請負費など合わせて8,800万円が減額になりました。

平成8年度一般・特別各会計予算は、関係各常任委員会に審査を付託、2日間に亘って慎重審議が行われました。各委員会における審議の経過は、最終日の本会議に委員長から報告があり、審議、採決が行われた結果原案のとおり可決承認されました。

国土利用計画など提出

▽八郷町下水道事業特別会計条例▽町道路線の廃止▽町道路線の認定▽八郷町保健センターの設置及び管理に関する条例▽八郷町基金設置条例の一部を改正する条例▽八郷町消防団員の定員・任免給与・服務等に関する条例の一部を改正する条例▽八郷町災害対策



3月の定例議会では、新年度に町が仕事をすすめるための予算が決まりました。重要な議案に対し熱心な審議が行われ、それぞれの案件が可決決定されました。

本部条例の一部を改正する条例
▽第二次八郷町国土利用計画

条例については、下水道事業を進めるため、平成8年度から新たに特別会計を設けるための条例や保健センターの完成、4月からの運営に関わる条例などが提出されました。また、国土利用計画は、総合計画の基本構想や市街地整備基本計画を踏まえて、国土を有効に活用し、生活や社会経済活動など職・住・遊機能の均衡ある発展をめざし、総合的かつ計画的な土地利用を図るという基本的な考え

方に立つて策定され、議会の議決を求めました。

【同意】

▽八郷町固定資産評価審査委員会委員の選任についての同意

これまで審査委員でありました大槻幸夫さん(大字太田)の任期満了に伴ったもので、大槻さんの再任について同意を求め、原案どおり承認されました。

【意見書】

▽住宅金融専門会社の不良債権処理に関する意見書▽地方分権の推進に関する意見書

まちづくりの熱心な話し合い

三地区で開かれた出前懇談会

町民のみなさんからの要請に応じて、町長はじめ関係課長が地域に向かい話し合いの場を設ける出前懇談会。

昨年度は、十月から始まって今年三月までに芦穂地区、戸ノ内三区、佐久区の三つの地区で開かれました。それぞれの地区での懇談会の様子を紹介してみます。

なお、出前懇談会は今年度も開催を予定していますので、みなさんからの積極的な申し込みをお待ちしています。

山ろくに観光施設と観光道路

芦穂地域の活性化を図る会が主催して行われた懇談会は、十月二十八日芦穂地区多目的研修センタ



芦穂地域では明るい展望が開ける施策に期待

ーで開かれました。懇談のテーマは、町の都市計画では、芦穂地域の位置付けはどのように考え、活性化をすすめるのかということでした。出席したみなさんからは、いろいろな意見がありました。

まず、地域発展のためには、上曽峠トンネル化に合わせ、山ろくに観光道路を整備し、観光施設の誘致などを進めてほしい。

農業後継者が少なくなつて、農地の荒廃が進んでいるので、将来的な土地の有効利用を考えてもらいたい。

町のほうからは、都市計画では地域の特性を十分生かして、みなさんの意見なども伺いながら、用途地域の指定を考えていきたい。開発や施設誘致には、町の構想に沿って県の計画やプロジェクト

などとも調整を図りながら進めて行きたいと説明がありました。

土・日・祝日の窓口業務拡大の考えは

戸ノ内三区の懇談会は、十一月四日に竜ノ口コミュニティセンターで行われました。

質問事項としては、次のようなものがありました。

○土・日・祝日はどのような窓口



戸ノ内三区では地域の身近な問題に話題が集まりました

業務を行っているのか。また、それを拡大する計画は

○一人暮らしの老人や老夫婦だけの暮らしへの福祉対策、将来の福祉事業計画

○町の上・下水道の整備計画や戸ノ内三区内の現状、計画は？

○空き地の雑草の駆除についての対応や条例、規則の有無
○工場などの開設許可や公害問題が発生した場合は許可取り消し等の措置は取れるのか。

区民のみなさんの身近な問題について、要望などもこめながら熱心に話し合いが進められました。

文化財清掃作業などに援助を

佐久の懇談会は三月二十三日に開かれました。この中では、大きく三つのテーマがありました。一つは道路の問題、園部から瓦会を通り空間を結ぶ道路整備計



佐久の懇談会は集落センターを会場に30名が出席

画また、二つめは、区内にある文化財の大杉周辺の清掃作業などへの補助や空洞化による倒壊の危険防止策、さらに三つめは、農業における高齢化の進展、減反政策が続くなかで、今後の農政はどのように進めるのかということでした。これらに対して、首都機能移転構想などと関連した広域的アクセス道路構想や県道の整備見通しを説明、また、大杉の清掃については、作業の時の茶菓子代や樹木の診断を依頼する予算を八年度に計上、さらに、農業における転作は国策であり、市町村レベルでの対応は難しく、農家のみなさんに協力をお願いしながら達成を図りたいと説明がありました。

今月お訪ねした本多祐二さんのお宅は、柿畑に囲まれた山裾にありました。本多さんのところでは、現在柿をおよそ二ヘクタール、チユリッブは一棟約三十坪のハウス四棟で栽培しています。

本多さんは、高校卒業後、土浦の方の会社勤め、忙しい時だけ家の仕事を手伝っていました。本格的に農業に専念してから今年で四年目になりました。

みごとに広がる柿畑の中で、最も古い柿の木は樹齢が六十年ほどだそうで、ほか三十年から十年と傾斜地の下の方に新しい早生の品種が植えられています。柿は、いまの時季せん定作業や施肥などを済ませ、その後収穫までの間に何回か消毒作業があります。「収穫までの間でいちばんこわいのは晩霜や長雨など天候です。柿は梨などと違い樹高が高いので防ぎようがありません。低地のほうの早生の品種が影響を受けやすい」と話していました。

チユリッブは三月末から四月中旬が出荷時期、ハウスでも暖房をあまり使わないので自然な形の栽培です。「母親と二人の手なので、規模を大きくするのは難しい。

農家は晴耕雨読の生活 束縛されない自由な発想

真家 本多祐二さん (27)



自宅前の柿の木のせん定も終わりほっと一息の本多さん

しばらくは、いまの規模でやっていきたい」と話す祐二さん。母親のきよさんは「仕事は一生懸命やってくれています。そろそろ結婚を考えてもという気持ちはありますが、相手も含めて本人の意志に任せています」とあくまで祐二さんの気持ち次第ということでした。「農家のよさは、晴れた日に耕やし雨の日には休む、まさに『晴

耕雨読』の暮らし、束縛されない自由なところ」それが祐二さんが女性の皆さんにアピールしたいところ。一年のうちには、収穫期など忙しい時期もありますが、暇があるときは友だちとゴルフを楽しみ、花の仲間との交流などもあります。自分の時間も大切にしながら、農業に傾ける力を蓄えているようすがうかがえました。

町長と

ひざを交えて



三月二十五日第八期町政モニターの今年最後の会議が行われました。昨年八月に町から委嘱されたモニターのみなさんは、

生活に関わる身近な問題やこれからの町づくりへの提言など、それぞれに気がついた問題、また地域で耳にする問題などに率直なご意見をいただきました。

活動の過程では、ごみの問題、下水道、道路、学校用地の問題などモニターのみなさんから示された質問事項について、それぞれ担当課より現状やこれか

らの計画などの説明があり、よりよい町政推進に熱心な話し合いが進められてきました。

モニターのみなさんからいただいた大切なご意見やご提言を可能なかぎり町政に反映させることが、みなさんの活動の成果になります。

最後の会議に当たって、町長は「みなさん大変お忙しい中にもかかわらず、積極的にまちづくりへのご意見やご提言をいただき心からお礼申し上げます。みなさんからいただきましたご意見やご提言は無にすることなく、今後の町政に反映させるよう努力してまいります。



みなさんには、これから気がついたことなどありましたら気軽に町のほうへ伝えてください」と述べました。モニターの一人岩田忠さんは「町のことを知る貴重な機会を与えていただき感謝しています」と語りました。

職員の定期異動

四月一日付けで次のように職員
の人事異動がありました。

(一) は旧所属

〔四月一日付異動〕

〈総務課〉▽庶務係長舟橋伸(国
保年金)▽主査高野和子(税務)
▽主幹 農委事務局併任―足立裕
路(社会体育)▽主幹細谷浩之(生
活環境)〈園部出張所〉▽所長兼
園部保育所長高野春生(小桜保育
所)▽主査長戸宣子(国保年金)
〈秘書広聴課〉▽職員係長高野喜
市郎(学校教育)▽主査福田美佐
子(国保年金)〈企画開発課〉▽
補佐兼特定開発係長助川時男(都
市計画)▽主幹島田美智男(税務)
〈商工観光課〉▽課長齋藤輝男(つ
くばね)▽主事吉田信代(学校教育)
〈つくばね〉▽支配人高橋進
(芦穂保育所)〈茨城県フラワー
パーク〉▽庶務係長飯島岩夫(水
道)〈ふれあいの森〉▽所長石井
洋一(企画開発)〈生活環境課〉
▽主幹菱沼茂雄(建設)〈登記課〉
▽地籍調査係長吉田敏一(税務)
▽主査池田幸枝(福祉)▽主事吉
田昌司(農政)〈住民課〉▽補佐
兼記録係長中泉森男(建設)▽住
民係長小松崎安代(出納)▽主査
岡田恵子(秘書広聴)〈国保年金
課〉▽医療福祉係長清水洋子(住

民)▽主査菱沼喜代子(総務)〈税
務課〉▽徴収係長富田隆一(水道)
▽主事飯嶋健一(登記)▽主事補
生田目俊幸(総務)〈農政課〉▽
林政係長岡崎仁(土地改良)▽主
幹友常豊行(登記)〈土地改良課〉
▽補佐兼土地改良係長大久保正見
(登記)〈福祉課〉▽補佐兼地域
改善対策係長桜井藤雄(住民)▽
主査飯田君子(商工観光)▽主査
荒井利枝(給食)〈小幡保育所〉
▽保母金子節子(芦穂)〈芦穂保
育所〉▽所長村田寛(土地改良)
▽保母稲見弘子(柿岡)▽主査千
葉初子(園部)〈恋瀬保育所〉▽
保母飯嶋京子(園部)▽主事萩原
三代子(芦穂)〈瓦会保育所〉▽
所長前島昭一(園部)▽主任保母
額賀幸子(林)▽用務手飯村てい
(林)〈園部保育所〉▽所長兼出
張所長高野春生(小桜)▽保母足
立昌代(小幡)▽保母藤岡茂子(小
桜)▽主査大塚利子(恋瀬)〈林
保育所〉▽主任保母菊田富子(小
桜)▽保母平本尚子(恋瀬)▽用
務手高岡八重子(瓦会)〈小桜保
育所〉▽所長山中幸三(瓦会)▽
主任保母坂本広子(瓦会)▽保母
友部文子(林)〈建設課〉▽補佐
兼管理係長甲一郎▽改良係長大岡
哲雄(農政)〈都市計画課〉▽補
佐兼建築指導係長富田雅博(総務)
〈保健室〉▽主査桜井紀美子(学
校教育)▽栄養士飯田博子(給食

セ)〈出納室〉▽主査鈴木幸子(保
健)〈水道課〉▽業務係長栗崎孝
夫(フラワーパーク)▽主幹額賀
和夫(農政)〈農業委員会事務局〉
▽局長久保田哲夫(福祉)〈学校
教育課〉▽学校教育係長菊地庄兵
衛(秘書広聴)▽主査鯉淵栄子登
記)▽主幹島田行正(ふれあいの
森)〈小幡小学校〉▽校務員小松
崎まち子(吉生小)〈林小学校〉
▽校務員藤田清子(小幡小)〈南
中学校〉▽校務員桜井はるみ(林
小)〈生涯学習課〉▽主事吉田郁
夫(社会体育)〈社会体育課〉▽
主査有間寿(登記)▽主幹吉川隆
(生涯学習)〈学校給食センター〉
▽主事小河原貞子(税務)〈中央
公民館〉▽館長白井忠雄(商工観
光)▽主事三輪易司(総務)
〈県下水道課実務研修〉▽主幹渡
辺利生雄(生活環境)〈県都市計
画課実務研修〉▽主幹久保田正美
(都市計画)

〔四月一日付採用〕

▽建設課主事細谷和彦▽税務課主
事野村栄貴▽農政課主事西口逸郎
▽国保年金課主事小河原修▽登記
課主事塚田光典▽保健室主事渡辺
貴子▽吉生小学校校務員鈴木宏美
(三月三十一日付退職)
▽鯉淵徳松(農委事務局長)▽関
香椎(中央公民館長)▽池田公恵
(園部出張所主査)▽畑山久江(南
中学校校務員)

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

園芸教室

春のタネまきは
ゴールデンウィークに

春めいた陽気の日には、園芸
好きの人は落ち着きません。む
しように庭に出て土いじりがし
たくなります。

「春秋の彼岸はタネのまき時」
といわれています。そこで彼岸
すぎ、ポカポカ陽気に誘われて
アサガオやサルビアをまいたが
まったく発芽しなかった、とい
うような経験はありませんか。
実は多くの春まき一年草にとっ
て関東の四月前半までの気温は
まだまだ寒すぎるのです。

春まき一年草の原産地は、ア
サガオ、コリウス、ハゲイトウ
などは熱帯アジア、コスモス、
ペチュニア、キンレンカなどは
中南米、インパチェンスは熱帯
アフリカ原産というように、熱
帯、亜熱帯原産の草花がほとん
どです。この先祖の血をひいて、
春まき草花は発芽するために高

い温度が必要なのです。

昔から「アサガオのタネまき
は八十八夜に」というように、
四月下旬から五月はじめの頃に
なるとおそ霜の心配もなくなり、
平均気温も十五℃以上となって、
発芽にちょうど良い条件が整う
のです。

近頃は、草花をタネから育て
たくても、スペースがままなら
ないという住宅事情もありまし
ようし、第一面倒だということ
もあって、園芸店から手軽にポ
ット苗を買ってくる方が多いと
思います。しかし、自分でタネ
をまき、手しおにかけて花を咲
かせた時のいとしさ、楽しさは
ひとしおです。
ひとつ、ゴールデンウィーク
には草花のタネまきで楽しんで
みませんか。



コスモス

(園芸課 伏谷)

グループ活動

(22)

パッチワークで手作りの楽しさを

パッチワーク同好会

様々な色・柄・形の小さな布をはぎ合わせてひとつの作品を作るパッチワーク。とても根気のいる作業ですが、できあがった時の充実感は格別です。また、手作りで自分のオリジナルの作品を作れるのも、パッチワークの大きな魅力です。

毎月、第一・第三木曜日に中央公民館に集まってパッチ

ワークを製作しています。種類は、生活小物類からタペストリー、ベッドカバーにいたるまであらゆる種類を手がけています。また、技術の向上と芸術的センスを磨くべく仲間たちで学習しています。

現在会員数は二十二人。年会費千円です。入会にはパッチワークの経験者または中央公民館の講座修了者に限らせていただいています。

◆代表者 亀田淑子さん

連絡先 大字柿岡二八七―四

☎四四一〇二一五



いい汗かいて、体力増進

エアロビクス同好会

最近、ちよつと運動不足かなと感じている方はいませんか。エアロビクスはそんな方にピッタリのスポートです。エアロビクスは体内に酸素を多量に供給し、心臓や肺の活動を刺激することによって健康を増進させる全身運動です。体力増進はもちろんのこと、スリムなボディの維持や肩こり、腰痛の緩和など健康推進に役立ちます。活動は毎週月曜日の午後八時から

ら約一時間半、中央公民館で行っています。木村幸子さん指導のもとに皆さん和気あいあいとエアロビクスを楽しんでいます。会員は二十五人ほど、会費は月二、千円です。入会条件は特にありません。誰でも自分のペースで手軽にできますので、皆さんもぜひ始めてみませんか。

◆代表者 渡辺百合子さん

連絡先 大字真家二八六―二

☎四六―二二三八



●最近気になる病気●

うつ病―最近増えている

軽症うつ病 について

豊後荘病院

精神科部長 多田国麿医師



まず「うつ病」とはどんな病気か説明しましょう。一、元気がなくなる感情・気分の病気で二、ある期間（平均三か月）続くが三、必ずしも通りに治る四、四十代から五十代になりやすいという大切な特徴があります。しかし放置しておくとうつ病という危険性を秘めています。一般の病院を受診する患者さんでも、その約一割が憂うつ状態を示しているといわれます。

うつ病の症状は精神症状として憂うつ・思考力の減退・おっくうの三つの中心症状があります。身体症状としては、疲れ易い、頭が重い、肩が張るなどいろいろな不定愁訴といわれる症状があげられます。治療としては、休養と薬物療法です。早く医師にかかり、出された薬を規則的に飲み、必ず治るというこ

このうつ病の最近の傾向として増加の傾向にある○軽症化している○だんだんと長びいている○何度も繰り返すなどという困った特徴が目立ってきました。

今回のテーマであり私たち精神科の医師も重要視している「うつ病の軽症化」についてまとめてみます。軽症うつ病とは入院せず外来でも治療できるうつ病といえます。軽症化の理由として、早期来院、早期発見、早期治療のためといわれています。

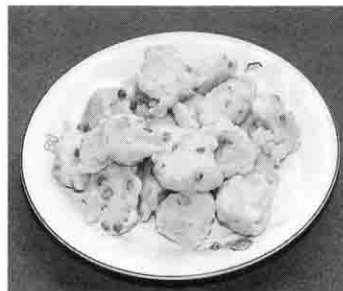
うつ病らしくないため周囲の人はもちろん本人自身も気付かないことがあり、微笑うつ病とさえ言われることもあるくらいです。確かに軽くて治りやすい反面、診断をつけにくい、だんだんと長びく、軽症であるため医師にかららないなどの困った面も多くあります。

いずれにしても「うつ病」は必ず治る病気です。気分的に不調落ち込みが続いたらこの病気のことを思い出し、心の風邪とでも思

って早めに気楽に専門医（精神科心療内科）を受診してください。

りしないことも大切なことです。

大豆入り天ぷら



食生活改善推進員 飯村とめ（山崎）

材料

大豆（水につけたもの）カップ1 グリンピース（缶）またはピーマン 100g とうもろこし（缶）100g にんじん100g ごま大2 塩少々 てんぷら粉 200g 揚げ油適量

作り方

- ①水につけた大豆に、水を少々入れてミキサーにかける。これにてんぷら粉、塩少々を入れて衣を作る。
- ②にんじんは小さく切る。
- ③グリンピース缶と、とうもろこし缶の水を切っておく。
- ④ごまは、いっておく。
- ⑤①の衣に②、③、④を混ぜ合わせて油で揚げます。

わが家のアイドル

加生野

比企彩華ちゃん

父 広行さん 母 和江さん
平成7年4月22日生まれ

♥家族からの一言

動きが活発なため、すぐどこかへ行ってはいたずらをしているので、目が離せません。特に電話に興味があるようです。

今のところ、病気もせず丈夫なので、このまま元気で素直に育ってほしいと思っています。



農村資料館

八郷の民俗資料

①



「蒸し器」と呼ばれるようになったのは、いつの頃からか定かでないが、一般的には、昔から「せいろう」と呼ばれる重要な調理用具であった。

その形態は、井げたに組んだ木箱の底に細い渡し木をとりつけて、その上に簾を置き、米などを入れて幾つも重ね、湯釜の上に乗せて蒸す。また、筒形のものも普及していた。これは木を薄く剥ぎ、丸く曲げて桜の木皮でとめ、底は四角のものと同様につくられている。

蒸し器（せいろう）——原型は古代の甑

いずれにしても「せいろう」の祖型は、弥生時代から古墳時代にかけて調理用具として多用されていた素焼の甑型土器に求めることができる。

古墳時代の甑は、器体は概ね深鉢を呈し、底部に大きな円孔を一個あけた

ものと、半円孔を二個、あるいは楕円孔二個と半円孔二個というようになあけたものがある。いずれも外側に二個の角形把手をつけるのが特色である。

その使用法は、底に麻布に簀をしき米を入れて蓋をし、甑などに湯をたぎらせて蒸し、強飯にして食べていたよ

うである。鍋・釜で煮る炊飯法よりも古く、現代に伝わる「せいろう」は、古代の甑の改良である。

なお、昨年十月から発掘調査が行われていた半田・原遺跡の古墳・平安時代の住居跡に伴って、土師器・須恵器の甑型土器が発見されている。『万葉集』

の山上憶良の「貧窮問答歌」に、蜘蛛が甑に巣を張って長く用いられていないことを嘆く詞がみえるが、これは竈穴住居での律令農民の苦渋の生活を詠んだものである。半田原遺跡の村人たちは、課せられていた多くの負担にどのように対処していたのであろうか。

八郷町文化財保護審議会委員

西宮 一男

*

「歴史の散歩道」は、先月号をもちまして終了させていただきます。代わりまして、大増の農村資料館に収められている民俗資料の中から、毎月ひとつを選んで紹介していく「八郷の民俗資料」が始まります。執筆は引き続き西宮一男さんをお願いしました。どうぞご愛読ください。



MIKI



月岡 萩原志づ



大塚 市村てるよ



下林 竹熊恵美 (11)



小幡 仁平洋子 (11)



私もひとこと

この間の日曜日、八郷町全体で空き缶拾いをしました。私は子どもと二人でやりましたが、その日の夕方にはもう、道路に空き缶が捨ててあつてがっかりしました。八郷町でも、缶の回収機などを設置してはどうでしょうか。

山崎 桜井洋子(40)

町の環境関係の会議でも、ポイ捨ての問題が数多く出されます。そのつど、児童の段階からの教育指導や広報紙の利用などの提案が出されています。町としてもいろいろな機会に町民の皆さんへのPRを実施し、モラルの向上に努力したいと思っています。一方、空き缶回収機の設置についてですが、

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水

恋瀬小四年 高橋美貴

節分

恋瀬小四年 高橋美貴

自然なさわやかな味のある書き方でとても立派です。名前をもう少し太く書くともっとよらしい。

小桜小二年 松崎さとる

いく

のびのびと大きく、すっきりとたいへんじょうずに書いています。

公民館の講座にギター教室をとり入れていただけたらと思っております。どうぞよろしく。

大塚 富田美江子

八郷町の場合、面積が広いこともあって、設置場所の設定が難しいと思われます。設置するしたら学校や公共施設などが考えられます。以前に観光道路や主要道路への屑籠の設置なども検討されましたが、かえって散乱の心配が予想されるということで、見合わせることがあります。今後屑籠などの設置を含め回収方法を検討していきたいです。

生活環境課

八郷町中央公民館での公開講座の案内を興味深く見るのですが、土、日曜日がないように思います。仕事をしている方でも受講できるような曜日や時間を工夫していただけたらと思うのは私だけでしょうか。

小屋 吉田美佐(32)

以前、日曜日に講座を開いたところ、最後まで受講された方が少数だったことから、現在は平日の講座に力を入れていきます。しかし、これから生涯学習の時代に向けて、土・日曜日や夜間など、仕事をしている方も受講できる時間帯に講座を設けることも必要と思われるかもしれません。公民館では充分検討を重ね、できるだけ多くの皆さんが楽しんで学習できる講座を考えています。また、ギター講座につきましても、皆さんの希望などを考えながら検討していきたいと思っています。

中央公民館

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 97

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

- ①平成8年度予算総額は？
(A)150億4,116万円
(B)160億4,116万円
(C)170億4,116万円
- ②では、一般会計予算額は？
(A)84億6千万円
(B)94億6千万円
(C)99億6千万円
- ③表紙で紹介した建物は？
(A)福祉センター
(B)老人センター
(C)保健センター

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ97と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入園券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成8年5月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙6月号

〔広報クイズ95の当選者の発表〕

正解は1-B、2-C、3-Aでした。
応募総数52通、正解51通の中から
次の10名が当選しました。

市村泰(大塚) 松田歩美(柿岡)
市村志つ(小見) 平のぶ子(上林)
比企初(上曾) 荒木美香(小見)
中沢よね(中戸) 菊池聡子(柿岡)
木村はる江(上曾) 桜井洋子(山
崎) [敬称略]



小見 大園美里(11)



大増 高橋 希(8)



小見 荒木麻美(8)

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

永かりし苦難の道を歩み来し卒寿の媼の笑顔明るし

東成井 小島 せん

陽ざし追いていつくしみたるボケの鉢京菓子のとき蓄つけた

弓 弦 雨 貝 和 江

霜白き庭にチューリップの小さな芽が出でしを見たり今日は啓
蟹 月 岡 萩 原 照 子

俳句

綿引鼓峰選

ひと雨に蘇へりたる春野かな

山崎 小松 みき

窓開けて庭の一人の梅見かな

大塚 友部 ゆき江

葱苗の反り上りたる畝真直

柿岡 岩田 けんじ

俚謡

鈴木弦月選

背戸の梅ヶ香そ一つと包み街に住む娘に届けたい

大塚 友部 ゆき江

夢もふくらみ希望に燃えて苦勞吹き飛ぶ入社式

柿岡 鈴木 千代子

跡を取る子に伴侶を迎え妻と安堵の酒を汲む

柿岡 上曾 酔人



今は珍しい苗代作り。昔はどこ
の農家でも見られた光景でした。
(昭和三十四年四月)

やさとメモリー

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線一三四三)

楽しくにぎやかに老人芸能大会

老人芸能発表大会が三月二十六日、農村高齢者センターを会場に盛大に開催されました。

この日、会場に集まったお年寄りはおよそ四百人。出場者は日ごろきたえた自

慢の喉を披露したり、色とりどりの自前の衣装で踊りを踊ったりと、四十ちかくの出し物が催されました。

みごとに歌や踊りに、会場は拍手喝采。大会は午後まで賑やかに続けました。

ハンググライダーで大空に舞う

プレ'96ハンググライダーイング日本選手権INいばらき大会が三月二十日から二十四日まで、足尾山と板敷山で開催されました。

この大会は毎年プレ大会と本選が交互に開かれているものです。来年も風向きなどによって二つの会場を使い分け、本

選が行われる予定です。

競技は簡単にいうと、ゴール地点を決め飛行距離と飛行時間で争われます。

大会には全国各地から八十八人の選手が参加し、風に向かって大空に飛び出していきます。

年金融資で汚泥処理設備が完成

湖北環境衛生組合がし尿処理施設の機能充実を図るため、工事を進めていた汚泥焼却処理設備がこのほど完成しました。この設備は平成七年八月から、施設整備事業として六億五千三百五十万円の工事をかけ建設されていたものです。

町からはおよそ月平均一千誌のし尿や汚泥が同組合の施設で処理されています。

なお、今回の設備建設は、私たちが積み立てている厚生年金保険や国民年金の積立金の一部から融資を受けて行われました。



ときめき
ティータイム

大田 洋子(山崎・20歳)さん

これからスイミングクラブで水泳をやってみよう。休日は友達とドライブすることが多いです。



あのがういづがいます

〇つくばね敷地にボタン桜三千五百本植栽
石岡市 長谷川清

■訂正 四月号「わがやのアイドル」で広瀬友美ちゃんのお父さんが正美さんとなっていました。訂正しておわびいたします。

地図をみながらポイント探し

第十八回町民オリエンテーリング大会が三月十日、総合運動公園を発着とする八郷コースで行われました。当日はハクラスに三十八チーム、百四十人が参加し、早春の一日を楽しみました。各クラスの優勝者は次のとおりです。(敬称略)

〔男子A〕富田洋輔・土田伸一・宇田雄一・横山洋平〔男子B〕菊地勇太・岡崎

孝宏・勝田峻介・鈴木全・宮嶋昭夫〔男子C〕森田順・原和弘・桜井洋介・館一彦〔女子A〕小松崎愛・田中友恵・長谷川緑・関口由佳〔女子B〕桜井可奈・国谷知子・江畑香欧里・広瀬朝美〔女子C〕鬼澤明美・岩田真規子・石塚奈保美〔混合〕桜井かおり・岩淵由香里・柴泰雄・木崎啓寛〔家族〕菊地庄兵衛・菊地聡子



人形劇おもしろかったよ

芦穂保育所のお誕生会に、人形劇が催されました。この人形劇は吉生小学校の読み聞かせグループのお母さん方十二人によって行われたもので、人形や舞台装置はすべてお母さん方の手作りにによるものだそうです。お母さん方は、毎週吉生小学校の一、二年生に読み聞かせを行っ

ていて、人形劇は二年前から始められたとか。かわい子猫のお人形が出てくる人形劇に、保育所の子どもたちは大喜び。とても楽しいお誕生会のプレゼントとなったようです。



半田原遺跡におよそ300人が訪れる

県道石岡つくば線の道路改良工事(バイパス新設)に伴い、県教育財団が半田原遺跡で行っていた調査発掘が終了し、三月十六日に一般公開され、現地説明会が開かれました。

半田原遺跡には旧石器時代の石器製作場跡、縄文時代や古墳・平安時代にかけての生活・住居跡、江戸時代の墓跡など

が発掘されました。また、遺物として県内では初めて出土した旧石器時代の砥石や奈良・平安時代の愛知県産とみられる灰釉陶器壺、八〜九世紀初めごろの須恵器壺などがほぼ完全な形で出土しました。現地説明会には町内外からおよそ三百人が訪れ、調査員の説明に熱心に耳を傾けていました。



私も、取材かたがた「平和を考える生涯学習のつどい」に参加しました。戦時体験の発表や、早乙女勝元さんの講演を聞きながら、「日本はこういう大変な時代を過ごしてきたのだ。この時代の人たちが頑張ったから今の豊かな日本がある。戦争は二度と繰り返してはいけない」などと思い、ひどく感動し、しばし感傷に浸りました。そして戦争を知らない世代なりに、戦争の悲惨さを想像しました。しかし、もう帰りは戦争のことなどすっかり忘れ「今晚の夕食は何にしよう」と考えてしまいました。平和っていいですね。

さて、わが八郷町でハンクグライダーの日本選手権が開かれました。プレ大会とはいえ、全国から愛好者が集まったところは圧巻そのもの。私は足尾山に行ったのですが、何十機というハンクグライダーが所せましと広げられ、通り抜けるのもやっとの程。そこからの眺めは絶景でした。しかし、羽をつけているとはいえ、こんな高い所から飛び出すとは…。平和な世の中では、人はスリルを求めるようです。

(武)

平和への願いをこめて多彩な催し

平和を考える生涯学習のつどいが三月十七日(日)、中央公民館を会場に開かれました。これは戦後五十周年を機会に、次の世代への戦争の悲惨さを語りつこうと開かれたもので、ビデオ映画の上映や戦時体験の発表、記念講演などが行われました。当日は延べ四百人が来館し、貴重な戦時体験に耳を傾け、八郷の戦時中を物語る展示物などに見入っていました。



茨城の戦時中の様子を伝えるパネル展示

十七日のつどいに先駆けて展示されていた、広島・長崎原爆写真パネルや本土決戦と茨城パネルは、たくさんの方々の目に止まり、戦争の恐ろしさを訴えました。

また、当日は八郷の戦時中を物語る品々が展示されました。古い写真や手紙、軍服、千人針など一般の方から寄せられた貴重な展示物に、来館者は足を止め見入っていました。

一方、大ホールではビデオ映画「ヒロシマ・母たちの祈り」が上映され、昭和二十年八月六日に原爆が投下された後の広島の様子が写し出されました。原爆の悲惨さは時をこえて私たちに戦争の恐ろしさを伝えてくれました。

その後、平和への願いと題して戦時体験の発表がありました。柿岡の萩原安二郎さんは陸軍病院に衛生兵として招集され、その時に体験した病气や爆撃の恐ろしさを語ってくれました。同じく柿岡の

小堤徳行さんはニューギニア・ガタルカナル戦の体験を詩で表現してくれました。柴間の杉山はつさんは、主人が戦地へ出征されたことや戦時中の家庭の大変だった様子などを話され、平和の大切さを訴えました。

また、東成井の高橋敬朗さんは、悲惨きわまる激戦のなかで、奇跡的に一命をとりとめた経緯を話してくれました。実際の経験に基づいての話のため、リアリティがあり、会場の皆さんも静かに聞き入っていました。

戦争を知らない世代の作文発表は、小学生代表の塚田陽子さん、中学生代表の川上智英さん、飯塚泰子さん、高校生代表の伊東紀江さんらがそれぞれ平和への願いをこめた作文を発表しました。

お昼には婦人会の皆さんによる「すいとん」が来館者にふるまわれました。現在の材料を使っているものなので、戦時中のものよりは



講演する早乙女勝元さん

ずっとおいしかったようで、好評でした。「家で作ってみたい」と言う方も何人かいました。

また、アトラクションとして、コール有明の合唱、子どもたちによる片野排禍ばやし、橋本きいさんによる岸壁の母が披露され、会場をなごませました。

午後からは、早乙女勝元さんによる記念講演「戦争の悲惨さと平和の尊さ」が催されました。早乙女さんは戦争のなりたちとその結果、戦争の犠牲となったもの、平和のために何ができるかなどを分かりやすく話されました。講演を聞いた皆さんは、人と人が争う空しさ、戦争の犠牲の大きさを思いめぐらせ、きっと平和への願いを新たにされたことでしょう。